

令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

宮古島におけるリュウキュウマツ枯死木の調査

7月24日（木）

令和7年7月初週に宮古森林組合より、「急に枯れたマツがある。」との情報提供があった。場所は宮古島市平良字西原地内の西辺小学校の校門であり、学校関係者へ話を伺ったところ、今年5月頃から急に枯れたとのことであった。

このため7月14日に宮古島市みどり推進課の職員と現地へ伺い、マツザイセンチュウ病診断のためのサンプル採取を行った。枯死木の3方向（3点）から電動ドリル等を用いてサンプルを採取し、採取したサンプルは森林資源研究センターへ郵送し、診断を依頼した。

7月24日、森林資源研究センターよりマツザイセンチュウ診断結果について「陰性」の報告があった。

宮古島にはマツザイセンチュウは生息しないものの、媒介者であるマツノマダラカミキリは生息していることから、マツザイセンチュウ病が発生した場合の初期防除が重要となっている。今後も宮古管内における松枯れに注視し、調査を行っていききたい。



▲リュウキュウマツ枯死木



▲サンプル採取の様子

（報告者：宮古農林水産振興センター 仲宗根、玉城、山城）